あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！

あの手この手

2011 4 月号

あの手この手のマークの間のSはsolution（解決）のSです。

大和市民活動センター［拠点やまと］ 第 45 号 2011 年 4 月 1 日発行

花ことばは誠実
ーマーガレットー

絵：「大親友（ともだち）になれた日」鈴木 沙也果（渋谷中学校3年）

やまと子ども絵画大賞

笹倉鉄平版画ミュージアム主催
第2回「やまと子ども絵画大賞」～ぼくの記念日わたしの記念日～（2010 年 11 月実施）において受賞した作品が3回にわたって表紙に登場。
今号は大賞を受賞した鈴木沙也果さんの作品。

描き続けることが大事

みなさん絵を一生懸命描かれているなぁというのが作品を見せていただいた感想です。
その中でも、よりていねいに気持ちをこめて描かれている作品から今回は受賞作品を選ばせていただきました。
絵を描き続けていくことによって、あるとき突然絵がうまくなる、ということもあります。
僕の場合も、絵を描くのが大好きで、描き続けているうちに、ちょっとずつ知らないうちに描けるようになっていた、という経験があります。みなさんも楽しんで絵を描くようにして、勉強もがんばってください。

（審査委員長の笹倉鉄平さんのコメント）

＜笹倉鉄平版画ミュージアム＞
大和市の第 15 回街づくり賞（屋外広告物部門）を受賞したミュージアム。笹倉鉄平さんの作品を常設展示しています。
神奈川県大和市上和田 1777
TEL：046-267-0077

想いをつなげていきたい

［拠点やまと］と大和市との協働による大和市民活動センターの運営は3年目、節目の春を迎えました。
この1年を通してまとめの作業を行います。
事業としては登録団体との「共育」を進める新規企画を準備中です。楽しみにしていてください。
また、今回の東北地方太平洋沖地震で「センター」は被災者の方々に何ができるかを考えた時、この地震で学ばせていただいたことを私たちの住む大和で、具体化していくことだと気付きました。センターは「新しい公共」の知恵と力が集まる場です。想いをつなげていきたいと、思っています。（拠点やまと会長 関根孝子）

＊「あの手この手」は大和市民活動センターのH.P.ではカラーでご覧になれます。

＜送付の際、同封されているご案内＞
・第 ㊵ 回連続共育セミナー「間違いだらけの“健康常識”」 のお知らせ

今年も始まります協働事業提案

協働事業提案とは、市民、事業者及び市が相互理解を深めながら、対等な関係で協力・連帯し、新しい公共の創造に貢献する「協働の原則」に基づき、市民が協働事業の提案を行うものです。

[現在進行中の協働事業]

○移動制約者の外出介助サービス事業
- ・NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ　ケアぴーくる
- ・NPO 法人　たんぽぽ

○身体障碍者、高齢者の通院・外出支援サービス事業
- ・NPO 法人　　大和市腎友会

○地域と学校の連携による大和市立渋谷中学校学校開放事業
- ・渋谷きんりん未来の会

○子育て家庭サポート事業
- ・ワーカーズ・コレクティブ　チャイルド・ケア

○CAP プログラム(子どもへの暴力防止プログラム)提供事業
- ・NPO 法人やまと CAP ひまわり

○ふくしの手 “全員集合”
- ・NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ想
- ・社会福祉法人　敬愛会
- ・パパボラやまと

○はぐくねっと
- ・NPO 法人地域家族しんちゃんハウス

○緑野青空子ども広場ツリーガーデン管理運営事業
- ・緑野青空子ども広場ツリーガーデン運営委員会

○地域防犯活動「レベルアップ」事業
- ・NPO 法人　日本ガーディアン・エンジェルス大和支部
  大和女性防犯会

○親子大和の野菜もぎとり&クッキング
- ・食のアトリエ

○大和市公共基準点成果の活用推進事業
- ・公共基準点活用チーム

○西鶴間・上草柳に乗合バスを走らせよう！
- ・乗合バス準備会

○ドッグラン設置事業
- ・結の会

○生活に役立つ日本語の読み書きを学ぶ「つるま読み書きの部屋」
- ・かながわ難民定住援助協会

○「フィルムコミッション」立ち上げ・運営

「センター」のある日ある時

3 月 9 日(水)晴れ

国際交流フェスティバルで「いっぴきチュー」の人形劇を上演予定の関東学院大学のボランティアサポーター２人が看板作りをした。この日の早朝、小田急線で踏切事故があったが、２人とも歩いてセンターまで来たとのこと。短時間で素晴らしい看板が出来上がった。
また、「ニイハオ会」の先生やメンバーが勉強終了後に「いっぴきチュー」を中国語でテープに録音してくれました。ちなみに中国語の標準語だそうです。

大和市内で活動している登録団体の事務所と主な活動場所

[市民活動推進補助金事業]

平成 22 年度

＜めばえ＞市民活動立ち上げ支援

①住宅火災警報取付け推進事業
　中央林間南地区街づくり委員会

②アタッチメントサポートセンター事業
　くじらのしっぽ

③発達障害児・者等の支援活動整備事業
　一般社団法人クロスオーバー大和

＜はぐぐみ＞市民活動発展支援

④プレママ・パパ・チャレンジ離乳食教室
　栄養サポートやまと

⑤わが街の資源再発見事業～住民活動による地域の宝探し～
　内山の街づくりを考える会

⑥平和を構築する写真展～子ども達の未来の幸せのために～
　チーム ピース チャレンジャー

♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ＜ちょっといい話＞ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪

東北関東大震災の余波が生活面にも覆いかぶさってきました。食糧、水、ガソリンなど買占め、買いだめもニュースとなりました。多くの乾電池を区や班に配った時のことです。ある老夫婦から「うちは結構ですよ。これを使って下さいな。」と庭にある太陽電池の照明灯を抜いてきて渡されました。夜の輪番計画停電は幸い短くて済みましたが、この好意の灯は何百の照明器具よりありがたく感じました。適切な配給を目的に日赤が「何が必要か」被災地から緊急アンケートをとりました。以外にも1番は衛生　2．食物　3．電気・ガス　4．衣類　5．情報でした。強奪や暴動の無い、みんなで助け合う国民性を誇りに思います。(望月則男)

♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪

東北関東大震災で被災された多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。

「大和市災害防災情報システム」にあわせ、避難時のいち早いラジオ情報として
「FMやまと」77．7MZ をお聴きください。

インターネットでは下記のリンク検索で住民あて詳細情報を即時に得られます。

- **大和市災害防災情報システム：**
  http://www.bousaiyamato.jp/
- **市内輪番停電状況：計画停電**：
  http://www.city.yamato.lg.jp/web/bousai/teiden.html
- **交通機関情報について**(各機関リンク)：
  http://www.city.yamato.lg.jp/web/jyoho/link.html
- **東北関東大震災義捐金受付**：
  http://www.city.yamato.lg.jp/web/f-soumu/gienkin.html
- **市の業務変更について**：
  http://www.city.yamato.lg.jp/web/gyokaku/gyomu_annai.html

また、「大和市民活動センター」は 常時((日)を除く)9：00～18：00まで開館し、スタッフが待機しておりますが 今後のセンター利用に関しては 計画停電、交通の便などを確認の上スケジュールを組まれるよう お願いいたします。

市民活動推進補助金制度

「新しい公共を創造する市民活動推進基金」を活用して、補助金を交付し、“新しい公共”の担い手となる市民活動を支援するための制度です。

2010 年度市民活動センターに寄せられた市民活動推進基金は 5,507 円でした。

「間違いだらけの“健康常識”」
～健康オタクは早死にする！？～

連続共育セミナー㊵ 回を開催します
日 時 :4 月 20 日(水)18:00～20:00
場 所：大和市民活動センター 会議室
お 話：大野カズミさん
(ドクターあいサプリメントパーラー
スーパーバイザー)
タイトルを見て、ハッとした人はまず参加を。より健康で過ごすヒントがいっぱいです。

「ちょっと使ってみようかな ～IT 導入の利点～」

連続共育セミナー㊴回を 3/29(火)に開催しました。

市川晋さん(大和市民活動課)と望月則男さん(拠点やまと)が以前受講した神奈川県とマイクロソフト(株)の協働事業「NPO パワーUP セミナー」を基に、前半は「PR 文書の作り方」「会議運営ノウハウ」「イベント運営」などの紹介。
後半はサービスプログラム「クラウド」、PC ソフト寄贈プログラム、そして便利な実例プログラム機能を実際に使って肩の凝らない楽しい IT お勉強会でした。

第124回 3/1(火) ～きっかけはさまざま～
＜関東学院大学学生ボランティアサークル＞

サークル会員自ら情報を集め、企画係・収集係・提供係・広報係の4つに分かれ、きめ細かいコーディネートをしています。4年間の学生生活のなかで、ボランティア活動を通じて成長したいと思っている人、ボランティアに興味があったけれど行動に移せなかった人など、さまざまな人がさまざまなきっかけで集まって、現在70名が活動しています。12月には大和市民活動センター主催のクリスマス交流会にボランティアとして参加し、「ワン・ピース」の子ども達と、外遊びやケーキ作り、オーナメントでクリスマスツリーの飾り付けをした様子も話しました。3/20（日）国際交流フェステバルに向けて準備をしましたが、中止なって残念です。

連続113時間の生放送 ありがとうございました

パーソナリティのジョニーさん

震災による計画停電情報、電車の運行状況など、ほんとうに知りたい情報を流し続けてくれているジョニーさん。音楽が入ったとき「ジョニーさん、ちょっとひと休みね」と言ったら、すかさず「ジョニーさんにお茶いれてあげたい」と櫻井さん。ジョニーさんとは「やまとっこ みつけた」の番組スタートからのお付き合い。マイクに向かって生放送を続けているジョニーさんを気遣う櫻井さんでした。（石川）

第125回 3/29(火)～それぞれの立ち場で考えて～
＜大和市革新懇＞

会員の中に今回地震に遭われた被災地の出身者が何人かいらして、親戚・友達の安否を気遣っていると話し、被災者の方へのお見舞いの言葉からはじまりました。「平和・民主主義・くらしを守る」を三つの共同目標として、平和と日々のくらしを守るために知識人・会社員・主婦とそれぞれの立場から考えて意見を出し合い議論しています。「無縁社会」「ワーキングプワー」「安全神話の崩壊」とこの国は、一体どうなっていくのかと思います。いっしょに語り合いましょう。毎月 9日の17:30～18:30、大和駅東口での定例化している街頭宣伝は、リレートークなど飛び入り歓迎です。

“黒子”（「やまとっこみつけた」進行担当）のつぶやき

出演者の中には、幼児を連れたお母さんもいます。スタジオの中にお母さんと一緒に入るのですが、すぐに、飽きて泣き出してしまった。そんな時 FM やまとのスタッフの方々が抱っこしたり、あやしてくださったことが何回かありました。スタジオに入る寸前までふざけて動きまわり、緊張とは程遠いと思っていた小学生の男の子が、スタジオの中では緊張のあまり、うなずくだけに。リクエスト曲を流している間にジョニーさんが、遊びのことを話題にして 緊張をほぐしてくれました。リクエスト曲が流れたら 耳を澄ましてみてください。もしかしたら、出演者とジョニーさんの内緒話や笑い声が聞こえるかもしれませんよ。（櫻井）

＜これからの出演団体＞
第126回 4/ 5(火)南輪の声元気会
第127回 4/19(火)大和市市民活動課

熱血編集後記

テーマは「もしもに備えて」

あの地震で私の中で大きく崩れたものがありました。淡々と日常を暮らすこと。クールな頭と熱いハートがあればもしもにも耐えられる。（関根孝子）

震度3でも誰も動かない。“非常時の備え”も「まあ、いいか！」が今まで続いた。この大惨事を機に”慣れの流れ“を切ろう！（望月則男）

電気がこない。デジタル製品がまったく使えない。そんなこと想像もしなかった。普段から頼りすぎず、アナログ代替策を考えよう。（村山真弓）

考えてもみなかった津波の恐怖。我が家の地域は、地震発生から 3 日間も津波警報がとれず、危険区域とのことで郵便物が配達されない。それでも危険の実感がわかない。（櫻井貞代）

福島原発事故では「想定外」が東電から連発された。“備えあれば憂（うれ）いなし”の「備え」がなかったということになる。これって……。（小杉皓男）

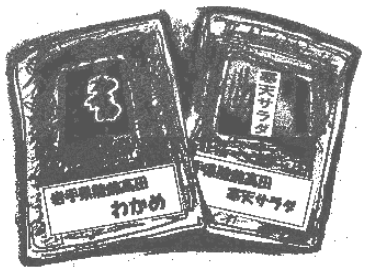
邪魔に思えても災害時に役に立つものは捨ててはいけないと痛感した。湯たんぽってなんて温かいのだろう。そして、腕時計を復活させた。（中山みゆき）

「災害」を学び、対処の知恵を得よう。“身の安全を確保して下さい”と放送。そうすることは、自分を守り、皆が助かることにつながる。（浅見正明）

「私にもしものことがあったとしても、『あぁしてあげればよかった』なんて思わなくていいからね。充分楽しんだから」と、子どもたちに伝えた。（石川美恵子）

「あの手 この手」第45号　発行日・2011年4月1日　発行・大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター ＜開館・月～土 9:00～18:00＞
〒242-0021 大和市中央 1-5-1
TEL：046-260-2586　FAX：046-205-5788
E-mail：yamato@ar.wakwak.com
http://www.kyodounokyoten.com/



大和市民活動センター[拠点やまと]が制作発行する
月刊広報紙「あの手 この手」。
今年度最初の4月号（第45号）をお届けします。

「命あることを 喜ぶ　ガンバレ高田」。
この言葉は東日本大震災で約 1250 人が避難生活を続けている陸前高田市立第一中学校の避難所に、畳一畳ほどの紙に書かれて、今大きく貼られている。

岩手県陸前高田市。
全域壊滅。死者 916 人・行方不明 1352 人・避難者 13058 人（26 日各県まとめ、毎日新聞 3/27 付け）と報じられている街だ。

この「命あることを 喜ぶ」を書いたのは自らも被災者として、避難所に身を寄せている同校の生徒たちが自分たちにできることはないかと考え、書いた。家族の安否すらわからない生徒、両親を津波に飲まれてしまった生徒も少なくないという。その子どもたちがつくりだし、外に向かって言った「ことば」がこれだった。

この言葉を書いた紙を貼りだすシーンが数十秒、先日テレビのニュースで報じられた。避難している人たちがじーっと見る。「…元気、出ますっ」「ああ、励まされるね…」と疲労の濃い様子が見て取れる人たちの口から語られた。そうだろうなあと思った。「命あることを 喜ぶ　ガンバレ（陸前）高田」を伝えたかった市立第一中学校中学の生徒たち。それ、確かに伝わったよ。その場にいる人たちだけでなく、多くのみんなにどれだけ励ましを与えることができたことか。
私は「ことば」の力を思った。
その後、もう一枚の紙が貼られた。「ガンバロー高田　人とつながろう、心をつなげよう」。

ところで、大和市と陸前高田市とはご縁があることを今回知りました。
大和市民活動センターから歩いてすぐの大和駅西口プロムナードのところにあるアンテナショップ「とれたて大和」（Tel : 046-240-8340）。ここで昨年 6 月の開店時から陸前高田市産のワカメやサバ、ホッケなどの真空パックを扱ってきた。今、「とれたて大和」では募金箱を設置（午前 10 時～午後 7 時）しています。

[拠点やまと]広報係　小杉皓男[記]　2011/03/28